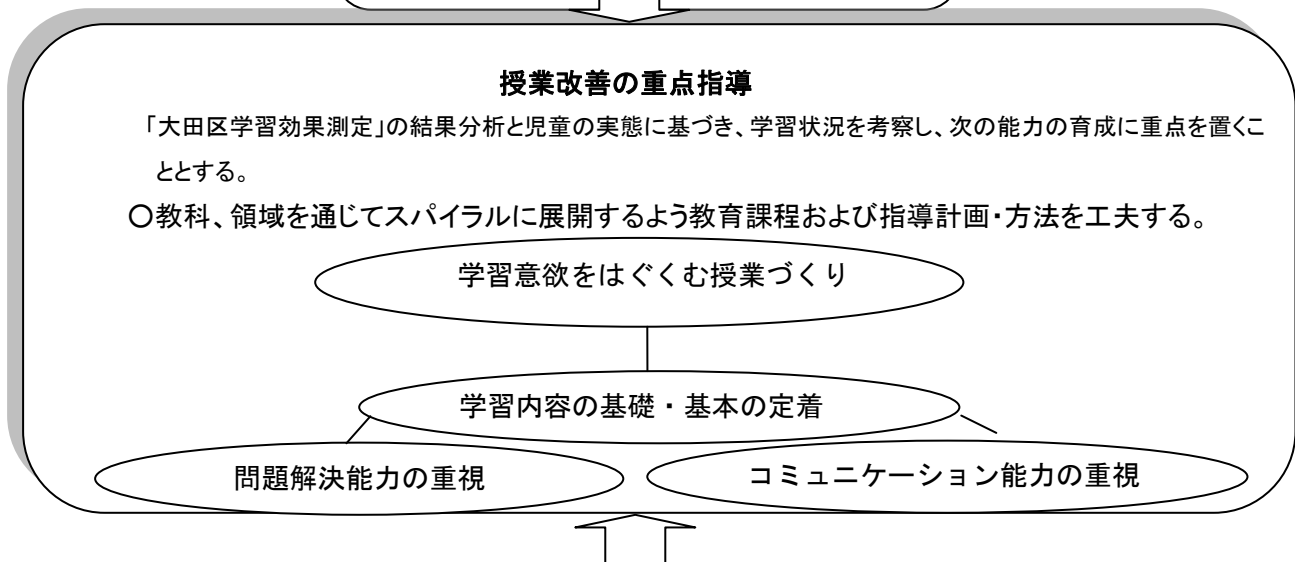
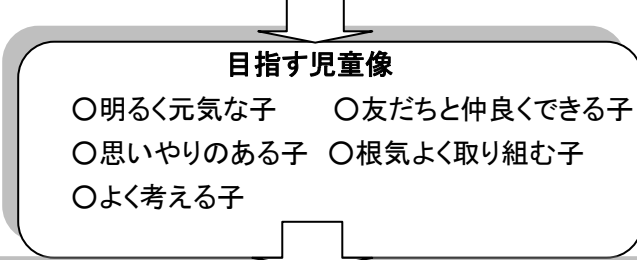
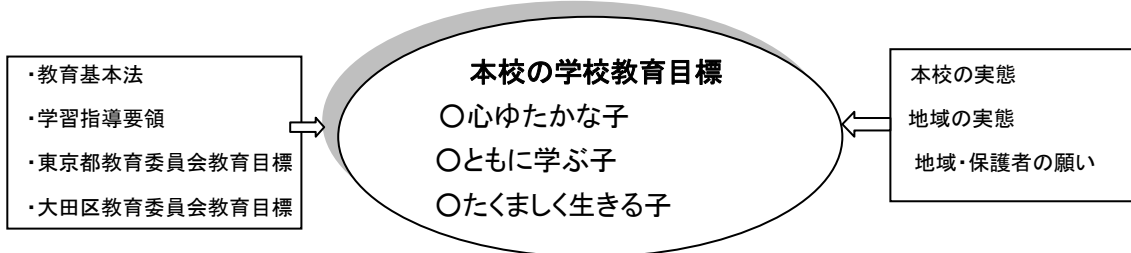


平成29年度授業改善推進プラン

1 学力向上をはかるための全体計画



授業改善の視点(学校経営計画を踏まえて)				
教育課程の工夫	指導計画・指導法の工夫	校内研究の充実	評価活動の工夫	家庭や地域との連携
☆読書週間(年2回) ☆読書タイム(週1回) ☆算数習熟度別授業(1年～6年) ☆ドリルタイム(週1回) ☆補填・発展学習教室(火・水・木・金・土)(入四タイム) ☆学習カルテの作成 ☆学習カウンセリングの実施 ☆授業時数の確保(年3回土曜、年1回日曜の午前授業) ☆東京ベーシックドリルの活用	☆算数授業研究による指導方法工夫改善(6回) ☆体験的な活動を取り入れた指導の充実 ☆問題解決学習を取り入れた指導の充実 ☆外部人材を活用した授業の充実 ☆入四学習スタイルの活用 ☆新聞を活用し、言語活動の充実を図る。 ☆ICTの活用を図る。 ☆オリンピック・パラリンピック推進教育を実施する。 ☆学習形態(ペア・グループ学習)の工夫	☆「学び合い、高め合い、深め合う、入四の子～2020年オリパラに向けて～」を研究主題とし、「かかわり合い」を通して主題に迫る。 ☆4回の授業研究を中心に取り組む。 ☆休み時間や体育朝会、学級活動等での運動の充実を図る。	☆各教科等の指導と評価計画を立てる。 ☆観点ごとの評価規準に基づいた評価を徹底する。 ☆学習活動に応じた効果的な評価方法を実施する。	☆「家庭学習のすすめ」等を活用し家庭学習の定着を図る。 ☆学校支援ボランティアと連携し、出前授業やゲストティーチャーなど、教育活動の充実を図る。 ☆家庭や地域による学校評価を生かす。 ☆小中一貫として、読書活動をテーマに連携していく。また、各教科も小中と連携できるように、一貫した計画を立てる。